

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	松くい虫枯損木伐倒駆除事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	6 款 2 項 2 目	事業番号	2875	所属長名	武智博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	山口高宏	
法令根拠等	愛媛県森林組成緊急対策事業実施要綱・補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 持続的な林業・水産業の振興					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	適切な森林の保全・管理及び林業を支える担い手を育てる環境の構築						
事業の対象	高度公益機能森林、拡大防止森林及び周辺地			事業の目的	松くい虫の繁殖源を除去し、被害の拡大を防止し、里山の再生を図る。		
事業の内容 (整備内容)	健全森林への被害防止に資する松くい虫防除区域の枯損木の伐倒・薬注			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	2,096	2,432	△ 1,300	0	0	1,067	枯損木伐倒駆除材積	m <sup>3</sup>	86	100	0	31
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	820	900	△ 650	0	0	302						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	1,276	1,532	△ 650	0	0	765						
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.17				0.17						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	2,894	3,791				2,426						
主な実施主体	伊予森林組合		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		松くい虫被害発生状況調査業務委託料等1,067千円							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000		
成果指標	指標	伐倒材積÷計画材積×100	単位	⇒	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標	毎年度		
			%		目標	100	100	100	100			
	指標設定の考え方	森林整備計画に定める計画材積と伐倒材積を比較することで効果を測る。	実績		86	31						
			指標で表せない効果									

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		松くい虫被害発生状況調査の結果に基づき実施場所の選定を行う。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	被害木を処分することで、被害の拡大拡散の防止が図られ、健全な森林が保全された。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B		事業の方向性 所屬長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、当該年度の枯れた松を伐採することで被害の拡大を防止する効果の高い事業であり継続と判断する。なお、過年度の枯損木の伐採については、今後の検討課題とする。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政事務に必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3								
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 下記の課題があるため行政評価委員会に諮る。 以前には谷上山周辺でヘリを飛ばして松くい虫防除空中散布事業をやっていた区域で伐倒駆除事業も実施していたが、空中散布事業をやめた区域での、民有林松くい虫枯損木伐倒駆除事業は効果が得られにくいことから、自己判定にも記述があるように薬剤樹幹注入した景勝地区域に限定して伐倒駆除事業を実施することも検討されたい。また、計画と実績の差異が大きいのは、枯損木調査がしっかりできていないことと思われるため、当該事業年度の伐倒駆除の調査ではなく、前年度に翌年度分の調査だけはしっかりと実施をして進めるようにすること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松くい虫の被害が広がっているからと言って、民有地を含めた全てに対策をするのはほぼ不可能である。</li> <li>景勝地を守る外はない。せめて、松がきれいな五色浜であってほしい。春は桜がきれいな谷上山であってほしい。</li> <li>イタチごっこの感が否めない。枯損木を伐っておいて、残った松を守るかどうかの保証もない。</li> <li>このままでは達成感が味わえない、生産性のない事業のままである。抜本的な方策を考える必要がある。</li> <li>景勝地の松を残してどれほどの意味が。極論だが、空中散布を止めた段階で松は諦めた方がよかったのかもしれない。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	コメント欄 五色浜と谷上山については地域の要望も強い。枯れた松の中に潜んでいる松くい虫を死滅させなければ、被害は拡大してしまうため、現状のまま継続とする。なお、谷上山に上がる道がサイクリングコースとして注目されており、将来に向けて、新たな松を植樹する等の別事業を検討する必要がある。